



○絵本を見ているときに、泣きそうになりました。うちにも、認知症のひいおばあちゃんがいるので、接し方に気を付けます。(小学4年生)

○認知症の人には、驚かせない、急がせない、心を傷つけない事を教わりました。(小学4年生)

○認知症の人に怒ると、症状が余計に悪化することがわかりました。(小学6年生)

○自分が言われたり、されたりして嬉しかったことは、認知症の人にも同じようにしてあげたい。(小学4年生)

○認知症の方もなりたくてなっているわけではなく、心を傷つけないなどを自分で考えてフォローしたいと思いました。相手の言葉をよく聞いて、笑顔でやさしくゆっくりと話したいです。(小学4年生)

○自分のおばあちゃんが認知症になってしまった場合は、今日学んだようにすぐに怒らず、優しく接し、毎日話しかけてあげたり、困っている時や心配ごとがあるときなどは相談にのってあげようと思いました。(小学4年生)

Interview

認知症キャラバン・メイトさんに聞いてみました

①認知症キャラバン・メイトになったきっかけは？ ②「孫世代のための認知症講座」に参加しての感想



畠山さん

①介護相談員としての訪問活動中に、認知症本人を支える介護者の様々な葛藤に触れ、心が痛みました。微力ながら、1人でも多くの人々の不安解決の一助になればいいなという思いで始めました。

②近年、核家族化が進み、祖父母と同居していない児童が多くみられます。そんな中、認知症について理解を深めようとする子どもたちの表情は闊達です。感受性豊かで、将来を担う児童の真剣に聞き入る眼差しにいつも心が洗われる思いです。



那須さん

①「お年寄りの方に寄り添いたい」という思いから。認知症の理解を深めたいという思いを、当時の上司に相談したところ、参加することに力強く背中を押してもらいました。

②子どもたちが認知症を受け止め、「どう接したらいいのか」を自分の意見として考えてくれるやさしさに感動しています。



八重柏さん

①認知症の方やそのご家族と関わる中で、不安や戸惑いを抱えている事に気づき、寄り添う姿勢の大切さを感じました。その中で、地域につながる場や役割の必要さを感じ、活動が地域づくりにつながればと思い参加しました。

皆さんも認知症について考えてみませんか？

認知症啓発企画展

期間：9月1日(火)～7日(月)
場所：役場エントランスホール

パネル展示のほか、期間中は役場メモリアルタワーが認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされます

金ケ崎町認知症キャラバン・メイト活動紹介

～認知症への確かな理解と 温かな心を地域で育むために～

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す
金ケ崎町認知症キャラバン・メイトの活動を紹介します。

**認知症
キャラバン・メイトとは**

認知症を正しく理解し、認知症本人やその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成するための講師を務めてくださる方々です。活動にあたっては、キャラバン・メイト養成講座を受講し、必要な知識と指導スキルを習得しています。

**金ケ崎町認知症
キャラバン・メイト連絡会**

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域を目指し、平成28年にボランティア活動を行う団体を設立し、今年活動10周年を迎えました。現在、認知症キャラバン・メイトは46名が登録しています。

**金ケ崎町認知症
キャラバン・メイトの今後**

(金ケ崎町認知症キャラバン・メイト連絡会 佐藤会長) 私自身も、「もし家族や自分が認知症になったら…」そんな思いを抱く一人でした。



誰もがなり得る認知症ですが、安心して暮らし続けるには、まわりに理解者がいる「やさしい地域づくり」が何より大切だと実感しています。今後も私たちキャラバン・メイトは、みんなで協力しながら、地域の方々に認知症を正しく理解してもらうための活動を続けていきたいと考えます。

**金ケ崎町認知症
キャラバン・メイトの活動**

地域の皆さんに認知症について知ってもらうため、主に2つの活動を行っています。**「認知症サポーター養成講座の講師」** 認知症を正しく理解し、認

知症本人やその家族を温かく応援する「認知症サポーター」を養成する講座の講師を務めています。なかでも、未来を担う子どもたちを対象にした「孫世代のための認知症講座」において、子どもたちが認知症を身近なものとして捉えられるよう、絵本の読み聞かせなどの工夫を凝らした講座を展開しています。

【地域での啓発活動】

自主活動として地域に出向き、寸劇などを披露しています。

「認知症サポーター養成講座」の事前講座

希望する団体は、保健福祉センター(☎44-4560)にお問い合わせください。



12ふれあい瘤木講座での活動
34「孫世代のための認知症講座」の活動